

# 留学体験（現地）レポート

新潟国際情報大学

国際文化学科

学籍番号：21016072

竹之内 七海

今回の派遣留学で私は、9月5日から12月28日までの約4ヶ月間韓国に留学した。そこで韓国での体験をいくつか紹介する。

まず、食事についてだ。韓国の飲食店等で販売されている食べ物や韓国料理は辛いイメージがある。韓国に来てまだ間もないころに、本場のビビンバが食べたくなり、慶熙大学内にある学生食堂で昼食時、友人と食べたのだが、あまりの辛さに顔を真っ赤にしながらか食べた。しかし、辛さに慣れてきたのか、寄宿舍で簡単に食べられるようにと買うカップ麺も、次第に舌が痛みを感じないほどになり、美味しく食べられるようになった。このことに気づいたとき、自分は辛い物にもっと強くなったのだと感じた。その他、韓国の飲食店は日本と比べ、低価格で飲食ができる。量も一品で2~3人前ほどあるものがほとんどなので金銭面ではとても助かった。

次に、秋学期のクラスメイトである。各国からの留学生が集まるクラスでは、お互いが会話をする際、韓国語を使った。一緒に勉強していくうちに仲が深まり授業も明るくなり一層楽しくなった。放課後、クラスの仲間で遊びに出かけたり、共に食事をしたり、帰国後もSNSを通じて今も連絡を取り合うほどの仲になった。仲良くなった分、別れるのはつらかったが、留学生活がより充実したものになったと思う。

最後に、新潟国際情報から共に韓国派遣留学をした友達である。留学前から授業で共に韓国語を学んでいたが、この留学を通し、お互いを知ることができた。体調を崩してしまったときや、生活で困っていたときにはいつも頼りになる存在であったし、韓国の有名な食べ物や観光地などへ誘ってくれてたくさんの場所へ行くことができた。友達のおかげで、ひとりではできない様々な経験ができたし、勉強も一層力を入れて励むことができた。

4ヶ月という短い間ではあったが、この機会を通して吸収したことが今後に生かすことができるよう、努力し続けていきたい。